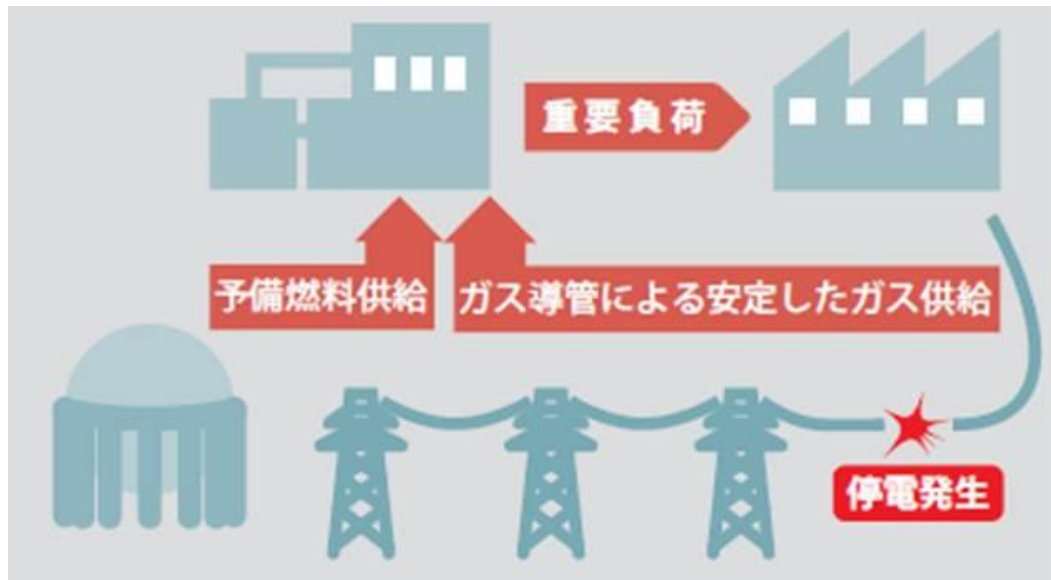


○再生可能エネルギーと蓄電池を組み合わせた事業の活用例

1 コージェネレーション機器導入による事業継続性強化

避難所となる施設に停電対応型コージェネレーション設備を導入することにより、災害時でも安定して電力を供給することができる。



(埼玉県ウェブサイトより)

2 地域の治安対策の強化

避難所へ通じる避難路にソーラー街路灯を設置することにより、避難所までの円滑かつ安全な避難が可能となる。

○EV活用事業の活用例

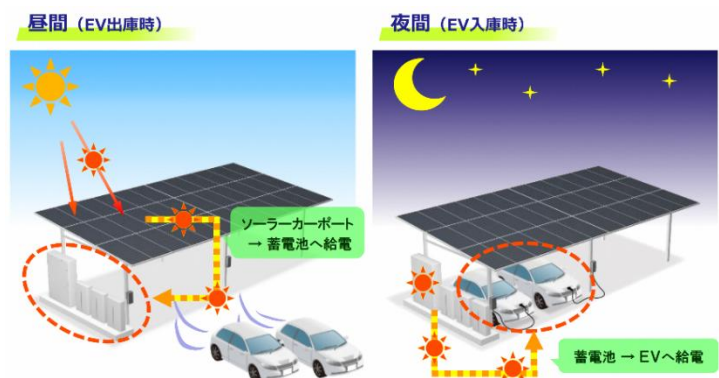
・ EVの活用によるレジリエンス強化

(災害時の非常用電源としてEVを活用)

避難所となる施設にソーラーカーポート、V2H設備を導入し、災害時の非常用電源としてEVを利用する。

(事業費例) 12,000千円(県補助6,000千円)

…EV車両4,500千円、ソーラーカーポート2,000千円、V2H機器2,000千円、蓄電池2,000千円、工事費用1,500千円 等



(中国電力ウェブサイトより)